

常設展示リニューアル オープニングセレモニーのご案内

～カムイサウルス完全版全身組立骨格～

【概要】

北海道大学総合博物館では、本学の最先端の研究・教育成果を社会へ広く発信することを目的に、常設展示及び企画展示の充実に努めています。常設展示「北大のいま」には、「挑戦する北大」「北大の学び舎」「北大の探求心」の各エリアを設け、本学の多様な教育・研究活動を紹介しています。

このたび、令和8年4月17日（金）に「挑戦する北大」エリアの一部をリニューアルオープンするとともに、北海道むかわ町穂別で発見されたハドロサウルス科恐竜カムイサウルス・ジャポニクススの「完全版全身骨格」展示を開始いたします。本展示は、北海道大学創基150周年を記念する事業の一環として実施するものです。あわせて同日11時より、北海道大学総合博物館 知の交流コーナーにおいて、オープニングセレモニーを開催いたします。当日は、主催者及び来賓による挨拶、展示説明、テープカットを行った後、内覧会を実施します。

【展示趣旨】

本展示は、北海道大学が中心となって進めてきた恐竜の発掘・研究の到達点を示すとともに、北海道大学とNHK札幌放送局との包括連携のもとで推進され、その成果を創基150周年という節目に広く一般に公開するものです。

カムイサウルスは、北海道むかわ町で発見された日本を代表する恐竜であり、その発見以降、北海道大学が発掘・研究の中核を担い、国内外の研究者と連携しながら学術的価値を高めてきました。本展示は、その長年にわたる研究の蓄積が結実した成果であり、これまで専門的な研究の中で培われてきた知を社会へと還元する機会となります。また、本展示は、北海道大学が恐竜研究において国際的な中核の一つとして位置づけられるに至った歩みを象徴するものでもあります。北海道での発見と研究は、地域に根ざした活動が世界的な学術的意義を持ち得ることを示しており、現在では北海道が恐竜研究の重要な拠点として国際的に注目を集めています。

本展示を通じて、発見から研究、復元、発信へとつながる知のプロセスを体感いただくとともに、北海道大学が築いてきた研究基盤とその広がり、そして未来へと続く挑戦の可能性に触れていただければ幸いです。

【展示日程】 4月17日（金）～通年 いずれも10時～17時

※休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日休館）

【展示場所】 北海道大学総合博物館1階「挑戦する北大」展示エリア

（札幌市北区北10条西8丁目）

JR札幌駅北口より徒歩15分、地下鉄南北線北12条駅より徒歩10分

【主催】 北海道大学総合博物館

【共催】 NHK札幌放送局

【対象】 一般市民

【入 場 料】 無料

【言 語】 日本語

【注意事項】 駐車場はありませんので、公共交通機関にてお越しください。



展示予定の
カムイサウルス
完全版全身組立
骨格

お問い合わせ先

北海道大学理学・生命科学事務部事務課博物館担当

T E L 011-706-2658 F A X 011-706-4029 メール museum@jimu.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp